「この人 39」　　**藤岡蒼樹** 77歳 広島県

編集部　滑稽俳句を始められたきっかけは？

藤　岡　30 年ほど前に大病をしまして、入院中にＮＨＫ俳句講座を受講して、俳句を始めました。滑稽俳句は、「俳壇」の八木先生の投稿欄に応募するようになってからです。

編集部　滑稽俳句の魅力とは？

藤　岡　真正面から写生しておられる先人の句を読んでいて、これでは私の入っていく隙がないと思いました。少し別の視点からの描き方によって個性ある句が作れるように感じています。

編集部　俳句における「滑稽」とは？

藤　岡　対象を真正面に観るより、側面からの構成の方が、或るおかしみを生み出せるのではないかと感じております。

編集部　滑稽句を続けていて良かったことは？

藤　岡　多角的観察が出来ることで、行き詰った時の脱出方法であると思う昨今です。

編集部　滑稽句をつくるコツを教えてください。

藤　岡　大真面目に他人の避けている題材に取り組んでみることだと思います。

＜代表句＞

林檎剥く長子や嫁と休みの日
藷掘りの蔓影しやがむ妻の尿
銀杏の落つ屋台屋根愚痴の酒
初場所の初日黒星役力士
一次二次選別容姿屑金魚

掲載の記事・写真・イラストなど、すべてのコンテンツの無断複写・転載等を禁じます。